

2014年6月19日

報道関係者各位

No-62122

株式会社 東陽テクニカ

Arbor Pravail Security Analytics、Interop Tokyo 2014にて 「Best of Show Award 2014」セキュリティ部門のグランプリを受賞

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下東陽テクニカ）が販売している米国 Arbor Networks 社製 Pravail Security Analytics (以下 Pravail SA) 製品が、Interop Tokyo 2014 にて「Best of Show Award 2014」セキュリティ部門のグランプリを受賞しました。

Pravail SA を用いることで、セキュリティ管理者は組織がさらされているサイバー脅威や攻撃の情報を簡単かつ時系列に把握することができます。今回の受賞では、このセキュリティ・インシデント可視化機能に加え、Pravail SA の有するルックバック機能（最新の脅威・攻撃情報で過去の通信を再評価する機能。詳細は後述）が高く評価され、グランプリ獲得につながりました。

[Arbor Pravail Security Analytics について]

Pravail SA は、ネットワークから実際のトラフィックデータをキャプチャし、セキュリティ上の脅威となり得るパケットや通信のリアルタイム検出と後追い解析を可能とするセキュリティ分析ツールです。

キャプチャデータをセキュリティの視点で分析することで、組織がさらされている脅威や攻撃を可視化する機能を提供します。攻撃者、標的、場所、攻撃パターンなど、複数の観点で攻撃に関する情報を表示することができ、何年分・何 TB 分ものトラフィックに関する統計情報を期間や場所に基づいて素早く比較できるため、自社のセキュリティ対応状況や攻撃の長期的傾向・深刻度を理解するのに役立ちます。

また、Pravail SA は、ストレージに取りためた過去のトラフィックデータを新しい攻撃の情報（最新のシグネチャ）で再評価するというルックバック機能を有しており、ゼロデイ攻撃など今まで発見できなかった脅威に対しても、いち早く対応を取ることが可能となります。既存の FW や IPS のような境界型・リアルタイム型のセキュリティデバイスではゼロデイ攻撃を検出することは困難ですが、Pravail SA のルックバック機能を用いれば、未検出の脅威を発見できるだけでなく、次のようなことを把握することが可能です。

- ・ 過去にその組織に対して攻撃があったかどうか
- ・ 攻撃があったとすれば、その時期
- ・ 攻撃者、被害者は誰か
- ・ 攻撃者がまだその組織に潜んでいるか

Pravail SA の特徴

1. 脅威の可視化

攻撃者、標的、場所、攻撃パターンなど、複数の観点で攻撃に関する情報を表示することができ、管理者が自社のセキュリティ対応状況を把握するのに役立ちます。

2. 大規模なデータをシームレスに分析

何年分にもおよぶテラバイト級のデータであっても、コンテキストを失うことなく、正確に一つ一つの攻撃を検出します。

3. 最新の脅威・攻撃情報を用いたルックバック機能

過去のキャプチャデータを新しいシグネチャで遡ることで、今まで検出することができなかったゼロデイ攻撃を発見し、インシデントとして対応することが可能になります。

サービス提供形態

1. Pravail SA クラウド

pcap ファイルをクラウド上にアップロードし、Pravail SA の解析機能をクラウドベースで利用することが可能です。すでにフォレンジック機器をお持ちのユーザー様に、効率的なセキュリティ分析機能を提供します。

2. Pravail SA アプライアンス

コンプライアンスなど、さまざまな問題でクラウドベースのサービスを使用できないユーザー様には、アプライアンスをご購入頂くことも可能です。キャプチャインタフェース (1G or 10G) とストレージ容量 (9TB~64TB) に応じて、ラインナップをご選択頂きます。

[米国 Arbor Networks 社について]

Arbor Networks 社（本社：米国マサチューセッツ州バーリントン、URL：<http://www.arbornetworks.com>）は、2000年にミシガン大学の研究チームにより設立されました。社名の Arbor はミシガン州の Ann Arbor という地名に由来しています。2010年には、米国の大企業グループである Danaher（ダナハー）グループ（ニューヨーク証券取引所上場(NYSE：DHR)）に加わりました。Tier1 プロバイダの 90%、Tier2 プロバイダの 60%という圧倒的なシェアにより、インターネットの運用、セキュリティ動向の提供に関してお客様から信頼されたアドバイザの地位を確立しております。主にキャリア、ISP（インターネットサービスプロバイダ）、エンタープライズ、データセンタ事業者や政府機関など、全世界で 300 社以上のお客様への導入実績があります。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、www.toyo.co.jp をご覧ください。

Arbor Networks 社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 情報通信システム営業部

Tel:03-3245-1250 Fax:03-3246-0645 e-mail : arbor-sales@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail : kikaku@toyo.co.jp

*記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

*記載の商品名、担当部署、Web サイトの URL などは、本リリース発表時点のものです。